

「血液培養検査複数セット率と陽性時間の検討」に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属溝口病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2019年1月7日～2019年9月30日

〔研究課題〕

血液培養検査複数セット率と陽性時間の検討

〔研究目的〕

血液培養は感染症診断において重要な検査ですが、採血の際に皮膚に常在する菌が混入してしまうことがあり、起因菌として治療すべきか困ることがあります。それらを判断するためには、きちんと消毒してそれぞれ別の部位から採血させていただくことに加え、培養の陽性化にどれだけの時間がかかったのかを調べるのが有用とされています。今回私たちは、それぞれの菌の培養陽性化時間の違いを調べ、起因菌か常在菌の混入か判別するために有用かを研究します。

〔研究意義〕

培養陽性化時間から起因菌であるか適切に判断し、適切な治療を行います。

〔対象・研究方法〕

過去3年間に当院に入院され、血液培養を採取された患者様を対象に、分離された菌名、薬剤感受性、培養陽性時間に加え、臨床情報として患者様の性、年齢、基礎疾患名、中心静脈カテーテル留置の有無、検体採取部位、検体採取時の発熱の白血球数、CRP値上昇の有無、投与された抗菌薬名を調査し、統計を取ります。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属溝口病院 第四内科

〔個人情報の取り扱い〕

匿名化し個人情報を保護します。個人情報が病院外に持ち出されることはありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：菊池健太郎（帝京大学医学部附属溝口病院 第四内科学講座 准教授）
住所：川崎市高津区二子5-1-1 TEL：044-844-3333(代表) [内線 3213]